

テーマ：住民主体のまちづくり 対象：地域住民 主催：大竹市立玖波公民館

## 2-④ 古民家・空き店舗改造カフェ

地域を学ぶ	—	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

### 1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
平成 29 年 5月8日(月) 19:00~20:40	大竹市総合市民会館	①街を変える主人公をつくる講演会 (大竹青年会議所主催：5月例会)
平成 29 年 7月1日(土) 13:30~16:00	大竹市立玖波公民館	②まちづくりワークショップ(第1回) ・「まちの未来を本気で考えよう」玖波駅周辺の空き家対策を起点とした、地域活性化を考えるグループワーク
平成 29 年 7月29日(日) 13:30~16:00		③まちづくりワークショップ(第2回) ・「残したいもの」「改善したいもの」「創りたいもの」 →空き店舗の活用について提案
平成 29・30 年 8月頃~3月頃 土日等で作業可能な時間帯 改装完了~現在 月1回程度 その都度時間設定	イノベーターズハウス	④空き店舗の改築 ・地域住民の有志が土日を中心に作業 ・資材等は有志による持ち寄り
		⑤毎月テーマを決めてミニ集会を開催 ・地域住民の興味のある話題 ・飲食、飲酒可で平日土日問わず開催可



対象	①まちづくり・地域づくりに興味のある市民 ②大竹イノベーターズメンバー ③④⑤地域住民
経費	①500円 ②③④参加費無料 ⑤必要に応じて徴収
連携先	大竹青年会議所, 大竹市都市計画課, 建物所有者, 地域住民有志

問合せ先

大竹市立玖波公民館  
〒739-0651 大竹市玖波 1-10-1  
電話：0827-57-7084 ファクシミリ：0827-59-0004

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

○地域に空き店舗や空き家が点在しているため、まちづくり・地域づくりのための活用に向けて住民が主体となって活動し、ネットワークの構築を図る。

## 3 学習目標

○地域内の空き店舗や空き家の効果的な活用について先進事例を学ぶ。  
○地域内の空き店舗を活用して、地域の活性化のために住民が集える場所を作る。  
○地域住民と一緒に空き店舗の活用に向けた作業（改装等）をすることで、住民同士の連帯感を高める。

## 4 事前に必要な知識や準備物

○建物所有者との連絡・調整・連携  
○改装に必要な物品や資材（地域住民の有志による提供）  
○まちづくりワークショップの事前準備として、ファシリテーター勉強会を実施

## 5 留意点

○建物所有者に活動の目的や趣旨を丁寧に説明し、協力を得る。  
○自分たちのものではないこと、費用や予算もないことが前提の活動であることを周知し共有しておく。  
○建物はその後、所有者が変わったり売却されたりすることも想定しておく。

## 6 成果

○個人利用や利益を求めず、地域づくりのために空き店舗の活用について話し合い、その思いを形にして活用することができた。  
○地域を活性化させるために住民がいつでも集える場所を提供することができた。

## 7 課題

○より多くの地域住民の方に利用をしてもらうためのしかけや工夫をする必要がある。

## 8 今後に向けて

○継続的な利用の促進・維持を図り、会場を利用したイベント等の企画を行う。